

## タウンミーティング議事録

### 1 日時

令和4年10月15日（土）午前10時00分から11時30分まで

### 2 場所

北部公民館

### 3 出席者

#### （1）特別職等

井崎市長、石原副市長

#### （2）部局長等

須郷総合政策部長、伊原健康福祉部長、大島環境部長

内子ども家庭部長、石野まちづくり推進部長、矢幡土木部長

大塚教育総務部長、宮本学校教育部長

#### （3）事務局（秘書広報課）

若林課長、三好係長、小林主事、斉藤主事、金子会計年度任用職員

須賀主任主事（記）

### 4 来場者数

18名

### 5 質疑回答

裏面のとおり

## Q 市民

東京都が2025年より太陽光発電を義務化するという話がありますが、流山市はどのように考えているのでしょうか。私としては、まず公共施設、次に商業施設、そして一般家庭の順に進めていけばいいのではないかと考えています。

2件目として、東深井の空き家が障害者施設にリフォームされており、クリーンセンターの職員が調査した結果、事業を営んでいることがわかり、ごみを出す際は事業ごみとして出すように指導してくれたということがありました。

現在、このような空き家ビジネスが流行しており、外観からは分かりづらいいということもあるので、対策を講じてはいかがでしょうか。

## A 環境部長

流山市としても太陽光パネルは二酸化炭素削減のために非常に重要な施策だと思っています。東京都では、大手メーカー限定となりますが、設置を義務化するという方針も聞こえてきております。

流山市では、太陽光パネルの設置に補助金を出し、市民の皆さまと環境に対する意識を共有することで、温暖化対策と一緒に取り組んでいけるものと確信しております。そのうえで、学校などを含めた公共施設で太陽光パネルが設置できるよう市内で協議を進めてまいります。

地球温暖化対策実行計画の区域施策編というものを策定しているところですが、これは行政だけでなく、市民の皆さまに地球温暖化防止策をご協力いただくプランをお示しし、実効性を担保するようなインセンティブも用意してまいりたいと考えています。

## A まちづくり推進部長

人が住まない空き家は、草刈りの問題や動物の死骸に関する問題など、様々な問題が出てきます。まず市が行っていることとしては、市民の皆さまから情報提供いただくなど、問題のある空き家を察知したら、所有者に連絡し、適正に管理していただけるようお願いをしています。また、この他にも、流山市住替え支援制度などにより、空き家を活用することで問題を解決するという方法もあります。

何の事業を行っているか分からないような使われ方という点につきまして

は、都市計画の用途地域により、やっていいこと、いけないことが定められていますが、外見だけではどのようなことをしているのか分かり辛いというものもありますので、具体的な場所などを情報提供いただければ調査等の対応を行いたいと思います。

## Q 市民

クリーンセンターの計量受付の信号や停止線について以前のタウンミーティングでも質問した時、停止線は後方の車の安全のためにあるという回答でしたが、後方の車の安全とはどのようなことを指すのでしょうか。

また、先日広報ながれやまで物流センターと包括連携協定を結んだということや、避難所のことなどが掲載されていましたが、具体的にどこが避難所になるのかを知りたいと思い、防災危機管理課に聞いたところ、まちづくり推進課が担当課との回答でした。防災のことでもあるので、皆さんで共有してもらって、共有の認識の上で対応に当たった方がいいのではないかと思います。

## A 環境部長

クリーンセンターは、搬入待ちの車が多いと長蛇の列が形成されます。どのようなタイミングで進んだり止まったりすればいいかという判断していただくために、後ろの方にも見えるように信号を設置しているということを過去にご案内したところです。

最前列の車は、前の車が終了すれば自分の番だと明らかなため、今まで停止線を引き直すということはしていませんでしたが、このたび全面改修を行うという機会があり、今までいただいていたご意見を踏まえ、停止線を少し下げましたので、一度ご覧になっていただけると幸いです。

## A 総合政策部長

2021年11月19日に日本GLP株式会社と包括連携協定を締結しました。この包括連携協定締結の以前の2019年10月には、災害時には日本GLP株式会社の施設を一時的な避難施設として使わせていただく協定を締結しています。

おそらく、この趣旨でのお問い合わせであったのかと思いますが、当時ご連絡いただいた際に明確なご案内ができなかったことについて、お詫び申し

上げます。

#### A 市長

例えば江戸川が氾濫するなど災害が発生した際には、その時の被害の状況により対応が変わるということがありますので、必ずこの場所を避難所として使ってくださいという取り決めはありません。

有事の際には安心メールで具体的な避難情報をわかりやすくお知らせしますので、ぜひ安心メールに登録していただきたいと思います。

#### Q 市民

安心メールはすぐに登録したので、安心しています。何キロにもわたり物流センターがあり、避難所がわかっていると防災訓練を行う時にわかりやすく、入り方などの訓練にもなると思います。

#### A 司会

本日、防災を担当している市民生活部長が欠席ですので、後日お手紙をいただき、市もご質問内容をしっかりと確認したうえで、明確なご案内をさせていただくということではいかがでしょうか。

(市役所の中で適正に処理してくれれば問題ないとの意思表示あり)

#### Q 市民

マンションの9階に住んでいます。現在、粗大ごみの捨て方は、1階に運びシールを貼っておくというルールとなっています。私は体力があるから良いのですが、高齢者などが大きなものを捨てる際には、大きな負担になると思います。上手くごみを出す手段はないのでしょうか。

2点目に、流山市のデジタルトランスフォーメーション対応というものは進められているのでしょうか。コミュニティやボランティアなどがあるのなら参加したいと考えておりますので、そのあたりの情報をお聞きしたいです。

#### A 環境部長

ご指摘いただきましたように、粗大ごみの出し方については、シールを貼り、朝に、一戸建ての場合は玄関先などに、マンションなど集合住宅の場合

は専用の集積所などに出していただくこととなります。

高齢者など、体力のない方への支援方法について、船橋市などでは粗大ごみ回収に協力する体制ができていると聞き及んでいますので、そのための職員の配置や委託の実施など、今後の課題として考えてまいりたいと思います。

#### A 総合政策部長

デジタルトランスフォーメーションについては、自治体情報システムの標準化、共通化、行政手続きのオンライン化など、庁内で検討している最中となります。

ご質問いただきましたコミュニティやボランティアにつきましては、検討している段階であり、ある程度方向性が決まった段階で市民の皆さまにお知らせしてまいりたいと考えています。

#### A 市長

全国的な組織で Code for Japan というものがあり、デジタルトランスフォーメーション以外にも、オープンデータなどのデータに関する様々な活動を行っています。

流山市にも Code for NAGAREYAMA というものがあり、積極的に活動されているので、ご興味がありましたらお調べいただくとよろしいかもしれません。

#### Q 市民

最近東武鉄道は事故等で止まることが多く、青田地区では遮断機が開かない場合、救急車が来れないと思うのですが、市として対策を考えていただきたいです。

また、マイナンバーカードについて、市役所まで受取に行った際に身分証を見せてほしいという話があったのですが、マイナンバーカードは写真も貼ってありますし、身分証がなくても本人確認ができると思います。また、マイナポイントの還元方法等の説明を一言も受けられなかったのですが、どうなっているのでしょうか。

#### A 市長

救急搬送については、例えば、事故や渋滞などで通過できないという情報

が入っていれば、迂回して現場に向かいます。東武アーバンパークラインの話であれば、アンダーパスを経由して反対側に向かうこともできます。

また、緊急通報があった際には、まず松戸市にある広域の指令センターで電話を受けています。そこから、流山市の事案なので流山市に連絡が来ます。救急車が不足している場合などは、近隣他市に連絡がいくこととなり、現場が近ければ柏市から出動されるということもあります。このように近隣他市との応援協定に基づき対応するという体制が整っており、青田地区のみが孤立してしまうということはありませんのでご安心ください。

## A 総合政策部長

国の方からマイナンバーカード保険証の取り扱いが発表されているところですが、マイナンバーカードを作成した後に様々なものに紐づけする必要があったりするため、そのあたりの関係性がわかりにくいということがあるかと思います。

ポイント等のご案内を含め、確認させていただきたいことがありますので、後ほど個別にお話を伺わせてください。

## Q 市民

流山市は住みやすい、野菜が美味しいといったように、市内に住んでいる人にとっては生活環境が充実してきていることが実感できるのですが、市外の方に対してのコンテンツ発信が薄いと感じます。何か目玉となるような魅力度アップの活動を行っているのでしょうか。

## A 市長

市ホームページの中には、市の魅力と同時に、市内で色々な活動をされてきた方の紹介するブランディングサイトがあり、コミュニティを作っていたくような仕組みも取り入れていますので、ぜひ市外の方にも見ていただきたいと思っています。

そのような活動を地道にしてきた結果、約20年前にタウンミーティングを始めた当初は、退職してから初めて流山市がどのようになっているのか興味を持たれて参加される方がほとんどでしたが、最近では早い方では引っ越して2週間や、引っ越し前に流山市のことをもっと知りたいということでタウンミーティングに参加される方が増えてきました。

そういう意味では、市の情報発信をもとに関心を持っていただき、様々な活動に参加していただける市民が増えてきたということで一步一步前進しているのではないかと考えています。

#### Q 市民

物流センターの周りの開発が進んでいることは良いのですが、朝晩は道路が混雑するということがありますので、周辺の整備も同時に進めていった方が良いと思います。

先ほどのクリーンセンターの停止線の件について、後方の車の安全について話されていましたが、前の車が動いたら自分も動くということで十分なのではないかと思えます。また、停止線の変更についても、その場その場の対応で安全性と説明するのではなく、前回のタウンミーティング時には予算的にも分かっていたはずなので、その時点で説明をしていればよかったのではないかと思えます。

#### A 副市長

ただ今ご指摘いただきました開発に伴う周辺環境の変化については重々承知しているところです。

先日も千葉県知事に視察いただき、渋滞状況についてもドローンを活用して現状を確認していただくとともに、4車線化などの改善要望を行いました。

しかしながら、4車線化は時間もかかるため、右左折待ちにより渋滞の原因にもなっている今上交差点の改良についても働きかけを行っておりますのでご理解いただきたいと思えます。

また、クリーンセンターの件については、今までもご質問いただいておりますので、このタウンミーティングの場で改善点をお示しいただくことで、可能な範囲で改善をしてみたいという考えを持っています。おそらく環境部長とも何度かお話し合いをされていると思えますので、予算編成期に合わせ、どのようにすればよいか検討してみたいと思えます。

#### Q 市民

もうすでに改善してくれたということなので、対応についてという観点は大丈夫です。本日のタウンミーティングで3回目となる「安全のため」ということが、どういうことなのかということをお聞きしたいです。

## A 環境部長

停止線が直っているということをご理解いただけましたことについてお礼申し上げます。

予算については、停止線を引き直す予算ではなく、路面が荒れた際に改修するという予算となります。そして、停止線について今までご意見をいただいていたことを鑑み、この改修の機会に、併せて停止線も引き直したというものです。

また、安全対策についてですが、ゴールデンウィークや年末年始はクリーンセンターに長蛇の列が形成され、長いときには道路まではみ出してしまうこともあります。そのような中、信号が変わるタイミングなどを後方の方に知ってもらうことで、入口までの距離から自身がどのくらい待つことになるかが予測できるようになり、進み具合等を判断していただくことが信号の役割の一つであるをご案内させていただきました。

## Q 市民

先日、女子小学生が痛ましい事件でお亡くなりになりました。自治会の中でも、防犯カメラをこの場所に設置しようと話があがりますが、プライバシーの問題や警察との協議などもあり、「個人が特定できるところへの設置は問題がある」というように、設置に向けての様々な課題があります。

設置したいところに設置できなく、次点の場所なら設置できるというようでは本末転倒であり、映像を確認できる方を明確に区切るなどの対応により、設置に向けた自由度を高められないかと思います。

## A 副市長

本日、市民生活部長が欠席ですので、私の知る範囲でお答えさせていただきます。

防犯カメラの犯罪抑止効果と事件の検挙率向上への有効性については、皆さまご承知の通りだと思います。ご指摘いただきました松戸市小学生の件は、現在事件ではなく事故という形となっていますが、防犯カメラは、こういったことへの解決の一助にもなっております。

防犯カメラの設置については、まず住民の方の要望を承り、警察と協議します。設置場所については、交通事故などの場合には、車の台数や事故の件

数などの資料により優先度が決まりますが、これに比べ、事件については、この場所で事件が起きるということを想定するのは困難であり、捜査のプロである警察より専門的な見地によるご意見をいただきます。

市民の皆さまのご要望、市や県の補助金による予算関係、そこに警察との協議が加わるため、防犯カメラの設置はかなり複雑なものとなっていますが、住民の皆さまのご意見等がベースにあるということをご理解いただければ幸いです。

#### A 市長

防犯カメラの視点からご案内させていただいたところですが、犯罪抑止のためには、防犯灯や、お宅の塀がオープン型になっているかということでもかなり違いが出ます。

「これは難しいが、代わりにこの方法ならばできる」という視点も持っていていただき、総合的にご検討のうえ、ご相談いただければ幸いです。

#### Q 市民

防犯カメラの設置について、設置する電柱によってNTTに連絡したり、東京電力に連絡したりと、煩雑なところもありますが、設置費用の問題についてお伺いしたいです。

防犯カメラは機器自体の費用や設置費用を含めると、合計で50万円くらいの費用がかかります。そのような中、流山市の費用助成は20万円までであり、これを30万円から40万円ほどに引き上げることはできないのでしょうか。

また、社会福祉協議会には年間で4億円程度の補助金がいっており、募金も1000万円ほど近くあり、何かの基金として1億3000万円ほど積み立てられています。

募金は自由意志に基づいて行われるものであり、自治会の回覧等を通じて募金を促すという手法は中止できないものなののでしょうか。

#### A 副市長

現在、流山市では補助金対象経費の2分の1の額、上限20万円としていますが、防犯カメラの補助金については、予算編成時に再度検討させていただきます。ご要望いただきましたような、50万円の費用に対して、40万円の

補助というのは難しく、25万円程度が限度であると考えています。

次に、社会福祉協議会は、市からの補助金で成り立っているわけではなく、「社会福祉法人流山市社会福祉協議会」として、原則、皆さまからの募金で成り立っています。主に災害時のボランティアセンターを開設や、生活困窮者への貸付事業などを行っており、戦後GHQの指導の中で作られた組織なので、日本全国にあります。

社会福祉協議会の成り立ちの歴史を鑑みると、地域の皆さまとの助け合いによって成り立つ組織であるということをご理解いただきたいと思います。

そのような中、内部留保金があるという話もありましたが、市の助成金が必要かどうかということについては、予算編成時に精査させていただきたいと思います。

## Q 市民

17年前に柏市から流山市に引っ越してきましたが、家から見える風景が変わってしまいました。

市外から来る方には流山の自然もメリットになると思いますし、美味しい野菜も魅力なのに、多くの方が土地を売ってしまい、住宅地になってしまいます。林や畑もなくなり、このままではどこにでもある地方都市になってしまうのではないかと危惧しています。

ホームページに空き家住み替えの情報を掲載したり、農家をしたい若者とのコンタクトを進めたり、流山の魅力を売り渡さずに、一度立ち止まってみて、現在の風景などの保全に取り組んでみて欲しいと思います。

## A 市長

どこの自治体でも同じですが、市内には市街化区域と市街化調整区域というものがあります。

市街化区域とは、住宅、商店、工場など、経済活動及び居住地として整備していい地域となります。一方で、市街化調整区域とは、農地や山林等を残していく地域であり、農家の方の家が建てられます。

本市は宅地並みの土地を取得して公園整備を行ったり、長期にわたり土地を借りている緑地などでは、地権者の方が相続等で手放す際には、流山市が購入するので、最初にご相談いただくようお願いしているようなものも多数あります。

T X沿線の区画整理が30年ほど前から始まり、緑地が減った中で、少しでも緑を回復するために、民間も含め、建物を建てる時には緑を植えていただくような試みを行い、結果、約60万本植えていただいているなど、T Xが走る前の状態を維持することはできませんが、他の地域の開発とは違い、相当な緑を確保しながら開発を進めています。

また、市街化区域の近くでまとまった緑地があるところは、少しずつ買い上げて保存するという取り組みも行っています。

「都心から一番近い森のまち」を現実を感じていただくためにコツコツ進めているところであり、これからも最大限努力していきたいと考えています。

## Q 市民

新川耕地付近に物流倉庫ができたことにより、交通量も増え、スピードもかなり出ています。

そんな中、横断歩道が少なく、危険な状態となっているので、事故が起きる前に横断歩道を増やしてもらえないでしょうか。

## A 土木部長

通称、白蓮通りと呼ばれる道路付近の横断箇所のことかと推察いたします。

こちらはすでに警察との立ち合いを行っており、流山市としても最優先箇所として位置付けています。

市としても、交通事故が起きる前に設置できればと考えておりますが、千葉県内約60市町村ある中で、設置個所は年間で12箇所程度であり、その中でも特に優先していただきたいとお願いしているところですので、もう少々お時間をいただければと思います。